



# 奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター  
(奈良県保健環境研究センター内)  
**N a r a I D S C**



## ● 今週の概要

- 今週の感染症情報
- 奈良県インフルエンザ発生状況 **NEW**
- 奈良県ノロウイルス検出状況 **NEW**



(調査週) 平成 23 年 第 12 週 3 月 21 日 (月) ~ 3 月 27 日 (日)

奈良県および二次医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週前からの動向)

順位	疾患	定点当り	奈良県	北 部	中 部	南 部
1	インフルエンザ	8.53	→	→~↓	→	→
2	感染性胃腸炎	6.34	→	→	→	→
3	水 痘	1.66	→~↑	→	↑	↓
4	A 群溶連菌咽頭炎	1.17	→	↓	→	→~↑
5	伝染性紅斑	0.43	→~↓	→~↓	→~↓	↓

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

**県北部地区概況** 報告数は 402 例で、前週報告の 497 例から減少。上位 5 疾患は、①インフルエンザ、②感染性胃腸炎、③水痘、④伝染性紅斑、⑤流行性耳下腺炎の順。水痘の報告数（18 例）は、ほぼ倍増。流行性耳下腺炎の報告数（11 例）は、やや増加。伝染性紅斑の報告数（12 例）は、ほぼ半減。インフルエンザの報告数（223 例）は、減少。感染性胃腸炎の報告数（112 例）は、やや減少。なお、インフルエンザの定点報告の内訳は、奈良市 HC 管内 110 例、郡山 HC 管内 113 例で、奈良市 HC 管内のみ注意報レベル（10.00）にあるが、前週報告分からは低下。郡山 HC 管内基幹定点から、細菌性髄膜炎の報告が 1 例（60~64 歳症例）あった。奈良市 HC および郡山 HC 両管内眼科定点からの報告はなかった。（村井 記）

**県北部外来状況**：外来患者数は、インフルエンザの再流行や花粉症が増えて増加している。インフルエンザは B 型が流行している。症状は新型のように咳が特徴とならず頭痛、腹痛など迅速検査をしないと診断できない場合も多くなっている。今シーズン新型と B 型の両方に罹患している方も目立つ。感染性胃腸炎はそれほど多くはないが乳幼児ではロタウイルスによる例が増えている。ただし症状は発熱、嘔吐、下痢だが軽度の場合が多い。伝染性紅斑も 相変わらずよくみられる。（矢追 記）

**県中部地区概況** 報告数は、327例から385例と増加した。上位5疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、A群溶連菌咽頭炎、RSウイルス感染症および咽頭結膜熱の順であった。インフルエンザは211例と横ばいであり、葛城保健所では定点報告数が11.73と2週間ぶりに10.00を上回った。感染性胃腸炎は89例と横ばいである。眼科定点からは、桜井保健所より流行性角結膜炎1例の報告があった。基幹定点からの報告はなかった。 (高木 記)

**県中部外来状況**：外来数は横ばい。多くはない。インフルエンザB型が流行中。前週はやや年長児に多い傾向で幼稚園・学校で学級閉鎖があった。今週は2～4歳児の幼児と、その保護者に多い。症状は高熱持続例もあるが全般に軽症の印象。インフルエンザA型も僅かに混在。紛らわしい症状でアデノウイルスも混在。ロタウイルスが流行してきた。乳児で嘔吐のみ、まだ下痢なしの早期例での採便検体で陽性に出た例もあった。発熱を伴い、程度の重い例もある。カンピロもあり、O群大腸菌の感染性腸炎も多い。A群溶連菌感染症の流行あり。2歳児で、発熱なく淡い粟粒疹のみで、咽頭所見が典型的でない例で迅速陽性で確定した例が2例あった。他に、水痘が少し。2歳男児で、気管支肺炎の診断での紹介入院例で、マイコプラズマIgM抗体陽性、PaO<sub>2</sub>89%で酸素テント収容との報告例があった。 (岡本 記)

**県南部地区概況** 報告数(第11週→第12週)は71例→70例と推移。報告のあった疾患は、①インフルエンザ(41例→35例)、②感染性胃腸炎(20例→21例)、③A群溶連菌咽頭炎(4例→10例)、④水痘(3例→2例)、④突発性発疹(1例→2例)。 (柳生 記)

**県南部外来状況**：外来数は多くないが、まだインフルエンザB型が散発的にあり、一部の保育所などで小流行が見られる。第12週では殆ど見られなくなったが、今週(第13週)再び増加した。発熱や咳などの症状は軽く、二峰性の発熱で疑ったものもあり。嘔吐下痢の感染性胃腸炎様の症状が先行したものもあった。感染性胃腸炎はロタが増加、アデノもあった。カンピロバクターもしばしば有り。A群溶連菌咽頭炎、水痘は僅か。流行性耳下腺炎はなかった。 (山本 記)

# 奈良県インフルエンザ検出状況

平成22年度奈良県感染症発生動向調査事業  
平成22年度新型インフルエンザ対策事業

平成22年度新型インフルエンザ対策事業  
表. インフルエンザウイルス検出状況 (採取日別、上段:新型、下段:香港型)

市町村	採取週	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	総計
	まで	1/3~1/9	1/10~1/16	1/17~1/23	1/24~1/30	1/31~2/6	2/7~2/13	2/14~2/20	2/21~2/27	2/28~3/6	3/7~3/13	3/14~3/20	3/21~3/27	
北和	奈良市	88 14		5	3	2	3		1	1		1	1	103 17
	大和郡山市	12 4			1									13 4
	天理市	12 2												12 2
	生駒市	14 7												14 7
	山添村				1									1
	平群町	1												1
	三郷町	3		1										4
	斑鳩町	1 2												1 2
	安堵町	1												1
中和	橿原市	19 8	1					1						21 8
	桜井市	8 3						1		1				10 3
	宇陀市	1						1		1				3
	川西町	1												1
	三宅町	1												1
	高取町	1												1
	大和高田市	5 39			1									6 39
	御所市	3 5	1	1	1	4	2	2	1					14 7
	香芝市	8 6												8 6
	葛城市	4												4
	上牧町	3 1												3 1
	王寺町	1												1
	広陵町	5 1				1								6 1
河合町	1 7												1 7	
南和	五條市	1	1	4	1	3	1	2		1	1			8 8
	十津川村			4										4
	大淀町			1										1
	下市町	2 2												2 2
	天川村				2									2
他	5 5	1											6 5	
合計	198 109	4	16	9 2	8 3	5 1	5 2	1 1	4	1	1	1	1	250 122

(平成23年3月25日現在)

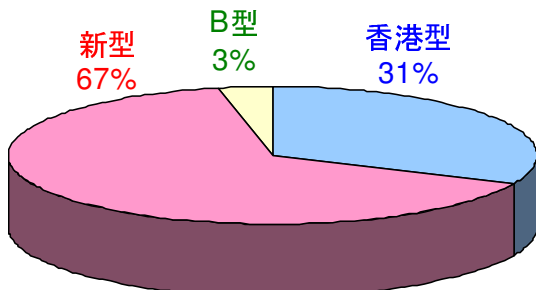


図1. 平成22年度インフルエンザウイルスの亜型比率

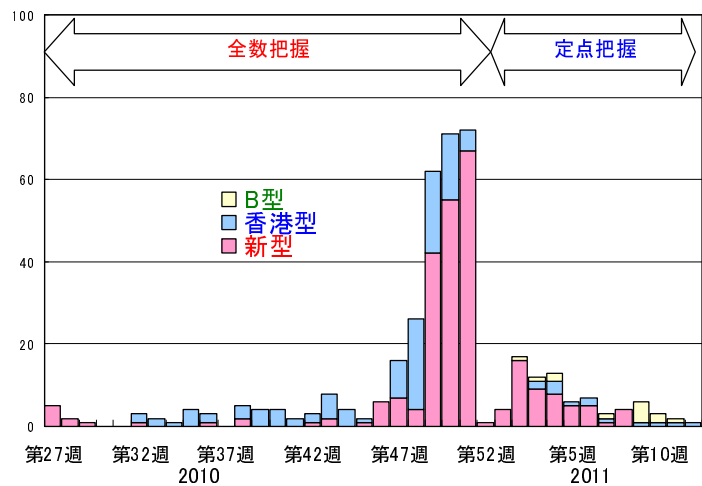


図2. 奈良県におけるインフルエンザウイルス検出状況(2010/2011)

☆ 薬剤耐性検索 (検出数/検索数)

新型ウイルス：オセルタミビル耐性 (1/199)

香港型ウイルス：アマンタジン耐性 (33/33)

病原体定点の検体からは新型インフルエンザウイルスが影をひそめ、第9週以降は、香港型とB型がおもに検出されています。これは、全国的にも同様です。奈良県におけるB型の検出状況は、平成23年になってから13例（奈良市で第2週、第4週、第5週に各1例、第9週に2例、第10週、第11週に各1例、五條市で第3週、第4週、第7週に各1例、葛城市で第9週に1例、御所市で第9週、第10週に各1例）が検出されています。

5ヶ月間にわたり、毎週お知らせしてきました奈良県インフルエンザ検出情報は、今回をもちまして一旦終了します。平成21年に発生した新型インフルエンザは、平成23年4月から季節性インフルエンザと同じカテゴリーで扱われることになりました。次シーズンの検出状況では「新型インフルエンザ」という表記ではなくなります。当センターでは、非流行季のウイルス性状も引き続き調査いたします。新しい知見が得られれば、その都度お知らせいたしますので、今後も感染症発生動向調査にご協力を賜りますようお願いいたします。

(保健環境研究センターウイルスチーム 記)

# 奈良県ノロウイルス検出状況

平成 22 年度感染症発生動向調査事業  
平成 22 年度食品の検査による安全確認事業

## ☆ 集団感染症（検出事例数）

**G I** 4 月：小学校（1）

11 月：小学校（1），幼稚園（1）

2 月：小学校（2）

**G II** 5 月：小学校（1）

6 月：特別養護老人施設（1）

11 月：保育園（5），幼稚園（2），他（1）

12 月：小学校（1），幼稚園（1），  
保育園（1），他（5）

1 月：特別養護老人施設（1）

2 月：小学校（3），老人保健施設（3）

3 月：小学校（2）

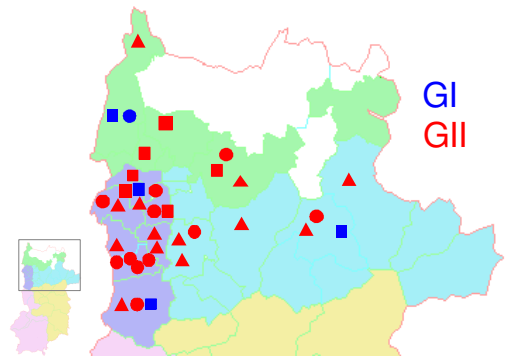


図. ノロウイルス集団発生状況

（食中毒事例を含む）  
○：保育所・幼稚園、□：小学校、△：老人保健施設、他  
（平成23年3月25日現在）

## ☆ 有症苦情を含む食中毒事例（検出事例数）

**G II** 5 月：京都府関連（2）

7 月：大阪市関連（2）

11 月：他（1）

12 月：老人福祉施設（1），他（1）

1 月：大阪市関連（1），他（1）

3 月：大阪市関連（1），他（1）

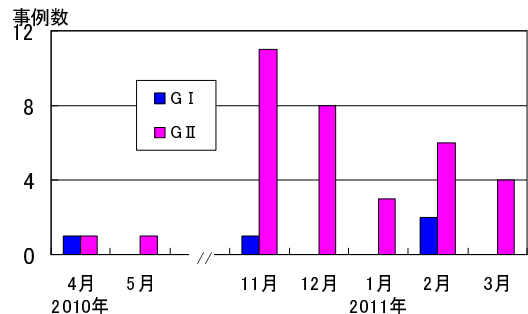


図. ノロウイルス検出事例数(月別)  
（平成23年3月25日現在）

他府県関連調査でノロウイルスを検出する事例が相次いでいます。3 月末にもノロウイルス G II が検出されました。

約 4 ヶ月間の、週報による奈良県ノロウイルス検出状況は、今週をもって一旦終了いたします。今後、特記すべき事例等は、その都度お知らせします。

ノロウイルスのシーズンは終息に向かってはいますが、感染防御のために手洗い等の基本的な習慣を身につけるように努めましょう。

（保健環境研究センターウイルスチーム 記）